

査読・表彰基準

1. 査読基準

年次大会では、発表希望者の学術または成果発表の自由を尊重することを基本とします。一方で、発表範囲、論理展開、事実関係または学会の社会的役割等を総合的に勘案し、提出された会議論文を対象として、下記の基準に従って日本核物質管理学会（以下、「当学会」という）が査読します。査読の結果、発表の採否を決定し、論理展開や文法等に不備がある場合や査読基準を満足しない場合は、会議論文の修正を求めることがあります。

なお、当学会の指示に反し、適切な修正が、定められた期限内に行われない場合には、発表を認めない場合があります。

- ① 核物質管理に関連する発表であり、別に定める発表範囲（年次大会発表テーマ例）を大きく逸脱していないこと。
- ② オリジナルな発表であり、過去に内容の全部または主要な部分が既に公表されていないこと（米国本部における発表を除く）。
- ③ 以下のいずれかの種別に該当すること
 - A) 研究発表 研究の対象・方法あるいは結果にオリジナリティーがあるもの。
 - B) 技術報告 技術経験や知見をまとめた実用価値のあるもの。必ずしもオリジナリティーにとらわれない。
 - C) 活動報告 ベストプラクティスや人材育成プログラム事例など、本分野の発展に価値のある活動報告。
 - D) 総説 これまでの知見や歴史をレビューし、本分野を広く展望したもの。
 - E) その他 当学会により発表が適正であると認められたもの。
- ⑤ 誹謗中傷、公序良俗に反する文言、政治的・宗教的思想が含まれていないこと。
- ⑥ 公共の利益に資すること。
- ⑦ 研究者・技術者への技術伝承につながる内容であること。
- ⑧ 会議論文作成要領に沿っていること。

2. 表彰基準

年次大会では以下を表彰します。

- 最優秀論文賞
- 優秀論文賞
- 最優秀発表賞（ポスター）
- 優秀発表賞（ポスター）

口頭発表者を対象とした論文賞の表彰審査は希望者のみを対象とする申込制とします。表彰審査を辞退される方は申し込み時（要旨提出時）、表彰審査辞退欄にチェック願います。

論文賞については、当学会が指定する表彰選考人（査読者、編集者）による会議論文評価点を2/3、年次大会参加者全員による口頭発表評価点を1/3の配分とし、総合的に評価を実施します。各

評価項目は以下の通りです。

(1) 会議論文

- ① 研究発表： 研究の対象・方法あるいは結果にオリジナリティーがあるか。
- ② 技術報告： 技術経験や知見をまとめた実用価値があるか。必ずしもオリジナリティーにとらわれない。
- ③ 活動報告： ベストプラクティスや人材育成プログラム事例など、本分野の発展に価値のある活動報告であるか。
- ④ 総説： これまでの知見や歴史をレビューし、本分野を広く展望したものとなっているか。
- ⑤ 英語（要旨）： 全体を適切に表しているか。
- ⑥ まとまり： 研究の背景、結果、評価（考察）、総括等、良くまとまっているか。論理展開が簡潔で読みやすいか。有益な成果が述べられているか。
- ⑦ 提出期限の順守： 締切期限は守られたか（締切後の提出は減点対象となる）

(2) 口頭発表

- ① 発表： 分かりやすい説明であったか。
- ② スライド： 見やすさ、図表の説明、要点が示されていたか。
- ③ 時間： 時間内に発表を終了できたか。
- ④ 結論： 発表の総括を適切に行ったか。
- ⑤ 質疑： 座長や聴衆の質疑に適切に対応したか。

(3) ポスター発表

- ① 発表： 分かりやすい説明であったか。
- ② ポスター： 見やすさ、図表の説明、要点が示されていたか。
- ③ 結論： 発表の総括を適切に行ったか。
- ④ 質疑： 適切な対応を行ったか。

以上